

B 会場

専門分科会「YMC：海大陸域におけるマルチスケールな大気-海洋-陸面相互作用研究」

座長：米山 邦夫 (JAMSTEC)

- B151 安永 数明 (富山大学) 赤道波擾乱における湿潤静的エネルギーの維持・減衰メカニズムの違い
- B152 安永 数明 (富山大学) 赤道波擾乱における湿潤静的エネルギーに着目した伝搬メカニズムの違い
- B153 飯田 大晴 (富大院理) 熱帯域東インド洋における地域による水蒸気変動特性の違い
- B154 清木 亜矢子 (JAMSTEC) 海大陸における沿岸降水と大規模場との関係
- B155 竹見 哲也 (京大防災研) 寒候期におけるマレー半島での降水の日変化と環境場との関係

座長：那須野 智江 (JAMSTEC)

- B156 内木 詩歩 (富山大院理工) ひまわり 8 号高頻度観測から同定した熱帯域雲システムの日変化
- B157 森 修一 (JAMSTEC) YMC-Sumatra 2017 集中観測におけるスマトラ南西沿岸陸域の対流活動：Pre-YMC 2015 との比較
- B158 横井 覚 (JAMSTEC) Pre-YMC 及び YMC-Sumatra2017 集中観測で見られた降水日変化の比較
- B159 耿 驃 (JAMSTEC) 2015 年と 2017 年にスマトラ島沖で観測された降水システムの構造の違い
- B160 高須賀 大輔 (東大 AORI・JAMSTEC) YMC-Sumatra 2017 で観測された 4-6 日周期の大気擾乱と MJO との関係

座長：竹見 哲也 (京大防災研)

- B161 伍 培明 (JAMSTEC) YMC-Sumatra 期間中にスマトラ島で観測された地上の突風
- B162 勝俣 昌己 (JAMSTEC) 淡水フラックスによる海洋表層成層への影響の観測：YMC-Sumatra2017 集中観測の事例
- B163 高野 雄紀 (東大大気海洋研) YMC-Sumatra 2017 で観測された水の安定同位体比の変動
- B164 奥川 椋介 (富山大院理) SCALE-RM を用いたスマトラ島西岸の沿岸降水帯に関する数値実験
- B165 那須野 智江 (JAMSTEC) YMC 期間中の季節内振動事例の全球非静力学モデルによる予測性能

座長：安永 数明 (富山大学)

- B166 木下 武也 (JAMSTEC) YMC-Sumatra 2017 期間中のラジオゾンデ集中観測に基づく上部対流圏の温度逆転領域に関する研究
- B167 鈴木 順子 (JAMSTEC) YMC-Sumatra 2017 期間中に観測された水蒸気・オゾン変動
- B168 城岡 竜一 (JAMSTEC) YMC-BSM2018 観測概要
- B169 米山 邦夫 (JAMSTEC) YMC ラジオゾンデデータの品質管理

C 会場

専門分科会「短寿命気候汚染物質 (SLCP) による気候変動および影響の評価」

趣旨説明 (5分) 竹村 俊彦 (九大応力研)

座長 : 鈴木 健太郎 (東大大気海洋研)

- | | | |
|-------|-----------------|--|
| C151 | 黒川 純一 (ACAP) | アジアにおける SLCP 関連物質排出量と長期トレンドの評価 |
| C152 | 花岡 達也 (国立環境研究所) | 温室効果ガス排出削減対策による共便益効果・相殺効果と短寿命気候汚染物質削減シナリオの評価 |
| *C153 | 米川 大地 (千葉大学大学院) | 近年の千葉における NO ₂ 、VOC、対流圏オゾン濃度のトレンド解析 |
| C154 | 須藤 健悟 (名大院・環境学) | 微量気体 SLCPs の長期変動と気候影響 |

座長 : 須藤 健悟 (名大院・環境学)

- | | | |
|-------|---------------------|---|
| C155 | 大島 長 (気象研) | 気象研究所地球システムモデルによる北極域におけるブラックカーボンの評価 |
| C156 | 中田 真木子 (近大) | 東アジア域における人為起源エアロゾルの影響 |
| C157 | 五藤 大輔 (国環研) | 全球高解像度シミュレーションによるエアロゾル物質収支と放射強制力 |
| *C158 | 本田 照裕 (九大総理工) | GOSAT TANSO-FTS TIR より導出された二酸化炭素濃度の上部対流圏および下部成層圏の変動解析 |
| *C159 | 外薮 健正 (九州大学 総合理工学府) | 気候モデルを用いたエアロゾルの上部対流圏・下部成層圏への輸送および大気放射・化学過程への影響 |

休憩 (10分)

座長 : 五藤 大輔 (国環研)

- | | | |
|------|------------------|---|
| C160 | 竹村 俊彦 (九大応力研) | 大気海洋結合モデルを用いたエアロゾル排出量変化による気温変化の解析 |
| C161 | 鈴木 健太郎 (東大大気海洋研) | 吸収性・散乱性エアロゾルの全球エネルギー収支への影響 |
| C162 | 趙 樹雲 (AORI) | The different impacts of black carbon and sulfate aerosols on global and tropical precipitation |
| C163 | 高橋 洋 (首都大/JAM) | エアロゾルの大気水循環への影響 -プロセスによる分離- |
| C164 | 芳村 圭 (東大生研) | 短寿命気候汚染物質による水ストレス・洪水暴露人口への影響 |
| C165 | 増富 祐司 (茨大農) | 大気エアロゾルによる日射量変化がアジア水稻生産に及ぼす影響の評価 |

総合討論 (15分) 竹村 俊彦 (九大応力研)

各講演は15分、*付きは10分

D 会場

大気放射

座長 : 入江 仁士 (千葉大CEReS)

D151	入江 仁士 (千葉大 CEReS)	タイ中央部におけるバイオマスバーニングの特徴: スカイラジオメーターと MAX-DOAS による同時観測
D152	内山 明博 (環境研)	改造スカイラジオメーターによる月を光源としたエアロゾル光学的厚さの推定 (3)
D153	桃井 裕広 (東理大)	天空輝度を用いた水蒸気波長のセルフキャリブレーション法の検証
D154	石元 裕史 (気象研)	近赤外波長でのぬれ雪粒子の光散乱計算
D155	林 昌宏 (気象研)	ひまわり 8 号観測バンドにおける火山灰の放射特性
D156	Khatri Pradeep (CAOS)	Ice cloud vertical profiles and their roles on cloud retrievals using thermal infrared measurements
D157	Khatri Pradeep (CAOS)	Inferring surface PM2.5 from satellite observation

専門分科会「気象観測・予測情報の再生可能エネルギーなどの気象ビジネス・サービスへの利活用」 (14:30~)

座長 : 宇野 史睦 (産総研)

D158	大竹 秀明 (産総研)	電力・エネルギー分野での気象情報の利用
D159	宇田川 佑介 (東大生研)	太陽光発電システム大量導入時における発電出力制御の必要性和気象予測技術の影響
*D160	吉野 純 (岐阜大工)	WXBC 気象データ分析チャレンジ! の取り組み
D161	堀尾 享司 (千葉大学)	静止気象衛星ひまわり 8 号に基づく全天日射量データの想定外誤差検知システムの構築
D162	宇野 史睦 (産総研)	冬季における関東域の日射量予測大外し時の大気場の特徴
D163	熊井 暖陽 ((株) 構造計画)	降水短時間予報を用いた力学系理論に基づくリアルタイム河川水位予測

座長 : 野原 大輔 (電中研)

D164	東山 和寿 (早大)	気象学的解析の補助を目的とした深層畳み込みニューラルネットワークに基づく特徴抽出
D165	吉田 健二 (CTC)	気象庁局地モデルを用いた風力発電出力予測について
D166	野原 大輔 (電中研)	風力発電出力急変事象 (ランプ現象) のための確率的予測手法の開発
D167	石崎 紀子 (筑波大)	風力発電予測における気圧パターンを考慮したモデル選択システムの構築
D168	永野 良紀 (日大・文理)	北海道と東北地方の発電量ランプの確率予測

総合討論 (15分) 宇野 史睦 (産総研)

各講演は12分、* 付きは招待講演 (16分)

A 会場

熱帯大気

座長 : 柳瀬 亘 (気象研)

- | | | |
|------|------------------|--|
| A201 | 森 一正 (高層台) | 台風 Yancy (T9313) の形成・初期発達過程で組織された長続きする強いメソ対流域
ー啓風丸 I レーダー観測と数値実験結果を用いた解析ー |
| A202 | 藤原 圭太 (九大院・理) | 秋季における台風の発達・構造変化に対する黒潮の遠隔影響:
Chaba(2010)の事例 |
| A203 | 金田 幸恵 (名大 ISEE) | d4PDF でみられた日本東海上を北上する台風の将来変化 |
| A204 | 柳瀬 亘 (気象研) | 台風の温帯低気圧化後の再発達に影響する要因の統計 |
| A205 | 筆保 弘徳 (横浜国大) | 急速発達する台風の気候学的特徴 |
| A206 | 辻 和希 (横浜国大) | 経路アンサンブルシミュレーションによる高潮ノモグラムの開発 |
| A207 | 南出 将志 (NASA JPL) | 次世代静止気象衛星による全天赤外輝度温度観測の同化を通じた
台風予測の向上可能性 |
| A208 | 佐藤 友徳 (北大院地球環境) | 南アジアにおける移動性メソ対流系の気候学的特徴と年々変動 |
| A209 | 内村 壮男 (九大院・理) | 2017年初冬にインド洋で発生したサイクロンによるロスビー波東
伝播の再強化 |
| A210 | 中村 雄飛 (東大大気海洋研) | 対流と結合した赤道 Kelvin 波・赤道 Rossby 波の構造と降水特性
に関する統計的研究 |
| A211 | 高野 雄紀 (東大大気海洋研) | 水の安定同位体比に反映される熱帯降水特性について |
| A212 | 柳瀬 友朗 (京大院理) | 数値実験による熱帯海洋上の対流雲の3次元構造の解析 |

B 会場

気象予報・データ同化 I

座長 : 栗津 妙華 (理研計算科学)

B201	岡本 幸三 (気象研)	全天候赤外輝度温度同化に向けた、全球モデルシミュレーションと観測の比較
B202	計盛 正博 (気象庁数値予報)	マイクロ波輝度温度データを用いた気象庁全球数値予報モデルの評価 -熱帯域の積乱雲の表現について-
B203	中川 雅之 (気象研)	気象庁全球モデルにおける下層雲の表現の改善 (第三報)
B204	吉田 聡 (京大防災研白浜)	2018年7月豪雨の総観場予測可能性
B205	山口 宗彦 (気象研)	GSMaP と 1ヶ月予報を用いたインドネシアの干ばつの予測可能性
B206	栗津 妙華 (理研計算科学)	Fractions Skill Score を用いた降水データ同化
B207	小池 佳奈 (エムティーアイ)	ゲリラ豪雨検知アプリ「3D 雨雲ウォッチ」の全国展開について
B208	沼田 和臣 (東京電力HD)	メソスケールにおけるレーダーエコーデータを利用した突風発生の事前判断基準の調査
B209	岡崎 淳史 (理研計算科学)	台風を対象とした高密度降水レーダ反射強度の観測システムシミュレーション実験
B210	榎本 剛 (京大防災研)	2013年台風第3号 Yagi の高解像度予報実験
B211	大石 俊 (名大 ISEE)	西部太平洋・東南アジア域における高解像度海洋同化システムの構築
B212	大石 俊 (名大 ISEE)	アガラス反転流域における水温前線の緩和過程

C 会場

中層大気

座長 : 吉田 康平 (気象研)

- | | | |
|------|-----------------|---|
| C201 | 澁谷 亮輔 (JAMSTEC) | 高解像度観測と数値モデルによる南極域中層大気重力波の力学特性 |
| C202 | 角 ゆかり (東大院理) | 成層圏突然昇温時の前線構造と重力波特性 |
| C203 | 安井 良輔 (東大院理) | 北極成層圏突然昇温に伴う赤道から南半球亜熱帯に及ぶ低温偏差 |
| C204 | 吉田 康平 (気象研) | 大規模アンサンブル実験から見える成層圏突然昇温時の熱帯成層圏対流圏結合 |
| C205 | 高麗 正史 (東大院理) | Lapse-Rate Tropopause 高度の傾向方程式の導出とその適用 |
| C206 | 平野 創一朗 (東大院理) | 南半球極域成層圏での波数1の準停滞性ロスビー波のクライマトロロジーと対流圏との関係 |
| C207 | 松下 優樹 (東大院理) | 半球間結合を示唆する中層大気年々変動と太陽活動との関係 |
| C208 | 直江 寛明 (気象研) | QBOi 実験において QBO が冬季成層圏中高緯度循環に与える影響 |
| C209 | 小新 大 (東大院理) | 中層大気の日データ同化におけるメンバー数の評価 |
| C210 | 中村 東奈 (富士通 FIP) | オゾンと同化した化学気候モデルによる初期値を用いた南米11月のオゾン予測の試み |
| C211 | 劉 光宇 (九大理院) | 南極域におけるオゾン変動と力学場の関係 |

D 会場

大気境界層

座長 : 山本 雄平 (京大院理)

- | | | |
|------|---------------|---|
| D201 | 山本 雄平 (京大院理) | ひまわり 8 号にて観測された都市の空間構造と地表面温度との関係 |
| D202 | 佐井 彩乃 (KUT) | 北海道東部の冬季極値出現時における地域の日変動気候特性 |
| D203 | 片野 陽登 (KUT) | 気象庁長期再解析データ(DSJRA55)とウィンドプロファイラーの比較 |
| D204 | 橋口 浩之 (京大生存研) | Estimation of turbulence parameters in the lower troposphere from MU radar and UAV measurements |
| D205 | 小川 陽平 (防衛大) | 都市域における CO ₂ フラックスの大気安定度依存性 |

座長 : 西澤 誠也 (理研計算)

- | | | |
|------|-------------------|--|
| D206 | 中村 祐輔 (立正大・院) | 都市内外における境界層内の三次元風分布—ドップラーライダーを用いた移動観測— |
| D207 | 矢野 雄大 (立正大) | 立正大学・熊谷キャンパスのドップラーライダー観測によるストリーク構造の調査 |
| D208 | 三浦 悠 (岡山理大院・生物地球) | 肱川あらしの発達に谷筋の水平気圧傾度が及ぼす影響 |
| D209 | 北村 祐二 (気象研) | 大気境界層のグレーゾーンに対応した LES に基づく乱流スキームの提案 |
| D210 | 西澤 誠也 (理研計算) | 強い降水に対するサブメソスケールの地形の影響 |
| D211 | 西 暁史 (筑波大・生命環境) | 空っ風の風分布に対する地形の影響 |

A 会場

降水システム I

座長 : 鈴木 真一 (防災科研)

- | | | |
|------|------------------------|---|
| A301 | 上田 有佑 (立正大学院地球環境科学研究科) | 日本における海上竜巻の発生の特徴 |
| A302 | 高増 厚司 (北大院環境) | 寒冷前線の上層雲に見られた時計回りの渦列の数値実験 |
| A303 | 岩下 久人 (明星電気) | 地上稠密気象観測により捉えられたダウンバースト発生時の風向・風速変化 |
| A304 | 櫻井 南海子 (防災科研) | 2017年8月19日に東京で発生した雷雲の特徴 |
| A305 | 鈴木 真一 (防災科研) | XバンドMPレーダーでとらえた2013年9月2日に埼玉県で発生した竜巻の親雲の時間発展 |
| A306 | 足立 透 (気象研) | 茨城県行方市に突風被害をもたらした対流系の高速3次元観測 |
| A307 | 岩井 宏徳 (NICT) | ダウンバーストと関連する降水コアのドップラーライダー・レーダ観測 |
| A308 | 岩井 宏徳 (NICT) | 台風に関連して発生したメソ渦 |
| A309 | 益子 渉 (気象研) | 2018年台風第6号の接近に伴い沖縄県伊江島で発生した竜巻の発生過程 |
| A310 | 益子 渉 (気象研) | 2015年台風第15号のコア域の風構造 |

B 会場

気候システム I

座長 : 山根 正大 (先端研)

B301	堀之内 武 (北大地球環境)	CMIP5 CGCM 群におけるジェットと降水の関係と梅雨の南北シフト
B302	尾瀬 智昭 (気象研)	気象研 60 km格子全球大気気候モデル温暖化実験における夏季東アジアの月別降水量変化の特徴
B303	谷田貝 亜紀代 (弘前大理工)	極端降水評価のための APHRODITE アルゴリズムの改良
B304	山根 正大 (先端研)	相当温位に基づく梅雨前線の特定と大気循環場の解析
B305	松本 健吾 (岡山大・院)	長期データに基づく東日本の梅雨最盛期の多降水年における日々の降水特性と総観場に関する気候学的解析
B306	槌田 知恭 (岡山大・院)	日本の梅雨期から盛夏期における大雨や短時間強雨での降水特性や大気環境に関する気候学的解析
B307	川瀬 宏明 (気象研)	地球温暖化が近年の西日本の大雨発生頻度に及ぼす影響
B308	今田 由紀子 (気象研)	2017年7月九州北部豪雨に対する地球温暖化の寄与
B309	宮坂 貴文 (JMBSC)	日本域の夏季降水量将来変化予測における大気海洋結合効果の影響
B310	加藤 内藏進 (岡大・教育・理科)	暖候期を通じた高知と岡山との降水量差形成に寄与する日々の降水の特徴と大気場の総観気候学的解析

C 会場

専門分科会「雲微物理モデリングの現状と可能性」

座長 : 佐藤 陽祐 (名大工)

- | | | |
|------|----------------|-------------------------------|
| C301 | 後藤 俊幸 (名工大) | 雲乱流と雲微物理 |
| C302 | 齋藤 泉 (名工大院工) | 乱流-雲粒相互作用に関する統計理論の DNS による検証 |
| C303 | 野田 暁 (JAMSTEC) | 液滴を陽に考慮した境界層雲の 3 次元放射伝達モデルの開発 |
| C304 | 大西 領 (JAMSTEC) | 粒子径解像・直接ラグランジアン雲粒子計算法 |
| C305 | 島 伸一郎 (兵庫県大) | 超水滴法の混相雲へ適用 |

座長 : 大西 領 (JAMSTEC)

- | | | |
|------|-------------------|---|
| C306 | 端野 典平 (名大 ISEE) | SHIPS を用いた北極混合相雲の研究 |
| C307 | 橋本 明弘 (気象研) | 山岳性降雪雲における降水形成過程に関するバルク法雲微物理モデルを用いた解析 |
| C308 | 佐藤 陽祐 (名大工) | 次世代気象気候ライブラリで利用可能な雷モデルの開発 |
| C309 | Roh Woosub (AORI) | Evaluation of mixed-phase clouds over the Southern Ocean in NICAM using Joint simulator |
| C310 | 清木 達也 (JAMSTEC) | 全球・領域実験併用のすゝめ～普遍的な雲微物理の理解に向けて
～ |

総合討論 (10分)

D 会場

中高緯度大気

座長 : 木村 詞明 (東大・大気海洋研)

- | | | |
|------|-------------------|--|
| D301 | 木村 詞明 (東大・大気海洋研) | 近年の北極海氷動態の変化 |
| D302 | 小山 朋子 (極地研) | ASR を利用したグリーンランドにおける月別降水量の解析 |
| D303 | 大島 和裕 (環境科学技術研究所) | 東シベリアの河氷融解に伴う急激な流量増加へ影響するオホーツク海高気圧 |
| D304 | 平田 英隆 (名大・宇地研) | メキシコ湾流からの潜熱/顕熱供給が爆弾低気圧へ与える影響 |
| D305 | 佐藤 令於奈 (福岡大院理) | 冬季中緯度における雲量の季節内変動特性
— 極東域における特徴 — |
| D306 | 栃本 英伍 (東大大気海洋研) | 日本付近で発達する温帯低気圧の構造と時間変化 |
| D307 | 佐藤 尚毅 (学芸大) | MJO の振幅の増加が関東地方の冬季の降水に与える影響 |
| D308 | 本田 明治 (新潟大理) | 2018 年 1 月 11-12 日新潟市に大雪をもたらした循環場・総観場の
特徴 |

A 会場

降水システムⅡ

座長 : 荒木 健太郎 (気象研)

- | | | |
|------|------------------|---------------------------------------|
| A351 | 荒木 健太郎 (気象研) | 冬季首都圏降雪時におけるメソスケール環境場の時空間発展の観測研究 |
| A352 | 二宮 洗三 (無所属 (個人)) | 1975年2月北西太平洋で二次的低気圧に発達した寒気内小低気圧 (PMC) |
| A353 | 山崎 一哉 (東大院理) | 九州近海で爆発的対流域から発生した低気圧の解析 |
| A354 | 高咲 良規 (立正大) | 1982年7月23日における長崎豪雨の数値解析 |
| A355 | 田中 孝 (那航・琉大) | 2016年1月17日に先島諸島で発生した線状降水帯の形成要因 |
| A356 | 川野 哲也 (九大院理) | 平成29年7月九州北部豪雨をもたらした線状降水帯の発雷特性 |
| A357 | 高薮 縁 (東大大気海洋研) | 2018西日本豪雨における亜熱帯ジェット蛇行の効果 |
| A358 | 廣川 康隆 (気象庁予報課) | 線状降水帯発生条件の有効性についての客観的検証 |

座長 : 星野 俊介 (高層台)

- | | | |
|------|-----------------|---|
| A359 | 星野 俊介 (高層台) | GNSS視線遅延量を用いた顕著現象の事例解析(2) |
| A360 | 酒井 哲 (気象研) | 2017年夏季の東京湾岸における水蒸気ライダー観測 |
| A361 | 川村 誠治 (NICT) | 地デジ放送波を用いた水蒸気量推定手法の研究開発
—首都圏観測展開とその初期結果— |
| A362 | 清水 慎吾 (防災科研) | 地上デジタル放送波を用いた水蒸気遅延量の同化手法の開発 —
観測演算子の設計— |
| A363 | 寺村 大輝 (北大院環境科学) | 北東アジア半乾燥地域におけるメソ対流系の発達に対する大気と陸面の寄与 |
| A364 | 川畑 拓矢 (気象研) | 雲解像粒子フィルタを用いた積乱雲の発生・発達に関する確率分布解析 |
| A365 | 草薙 浩 (京都ウェザー) | 降水連続日数と一雨降水量の細分階級からみた日本の降水長期変化 |

B 会場

気候システムⅡ

座長 : 原田 やよい (MRI)

- | | | |
|------|------------------------|---|
| B351 | 林 未知也 (ハワイ大) | 海洋垂表層における非線型力学加熱と ENSO 非対称性 |
| B352 | 栗原 和夫 (無所属) | エルニーニョ現象に関わる 4.5 年周期大気変動の最近の状況 |
| B353 | 直井 萌香 (筑波大院生命環境) | ENSO の季節進行に伴う夏季北太平洋 Atmospheric Rivers の変動 |
| B354 | 原田 やよい (MRI) | 北半球夏季季節内振動明瞭時における大気大循環場の特徴 |
| B355 | 小寺 邦彦 (気候研究部) | サヘルにおける近年の非常に深い対流の増加トレンドと熱帯成層圏界面気温の低下との関係 |
| B356 | 森下 秀城 (岡山大・教育) | 11 月初め頃における冬型気圧配置の季節的増加と広域場の背景 (1980~2016 年の解析から) |
| B357 | 勝山 祐太 (北大院理) | 北海道全域における積雪の地球温暖化影響評価 |
| B358 | 高橋 千陽 (東大大気海洋研 (AORI)) | 2017 年 8 月の北日本域の極端な寡照イベントに対する要因分析 |
| B359 | 中村 知裕 (北大低温研) | オホーツク海海氷による広範囲の海面熱フラックス変動: ストームトラックと海洋混合層への影響の可能性 |

座長 : 北野 慈和 (電中研)

- | | | |
|------|--------------------|---|
| B360 | 桑名 佑典 (岡山大・院) | 低気圧活動からみるヨーロッパの季節サイクルに関する比較気象学的研究 (2000 年を例に) |
| B361 | 鬼頭 昭雄 (気象業務支援センター) | 2010 年代は北西太平洋における極端降水トレンドの変換点か? |
| B362 | 釜堀 弘隆 (気象研) | 日本における台風降水量の変動 |
| B363 | 村田 昭彦 (気象研) | 地域気候モデルを用いた台風及び非台風降水の将来変化予測 (その 4) - 非台風降水の統計分布 - |
| B364 | 北野 慈和 (電中研) | 日本列島を対象とした風向別風速極値の台風依存性 |
| B365 | 久保田 尚之 (北大院理) | ULAT: フィリピンにおける極端気象の監視・情報提供システムの開発プロジェクト |
| B366 | 久保田 尚之 (北大院理) | 江戸時代後期に來航した外国船の航海日誌の気象データから復元する日本周辺の気候 |
| B367 | 牛山 朋來 (土研 ICHARM) | ベトナム 3 都市圏における豪雨の温暖化影響 |

C 会場

専門分科会「理論・観測・数値シミュレーションによる惑星大気研究の最前線と将来展望」

座長：石渡 正樹（北大・理）

- | | | |
|-------|---------------|-----------------------------------|
| C351 | 杉本 憲彦（慶大日吉物理） | 現実的な東西平均加熱による金星スーパーローテーションの発生 |
| C352 | 鈴木 杏那（京産大理） | 金星山岳波の励起・伝播過程と大気大循環に対する影響の解明 |
| C353 | 高木 征弘（京産大理） | 金星上層大気の平均子午面循環について |
| C354 | 高橋 芳幸（神戸大理） | 放射伝達を陽に計算した金星大気大循環計算 |
| C355 | 堀之内 武（北大地球環境） | 金星の雲層における角運動量収支と超回転 |
| *C356 | 中川 雄太（東大院理） | 大気大循環モデルを用いた系外惑星の光度曲線解析による自転傾斜角推定 |

座長：高橋 芳幸（神戸大・理）

- | | | |
|-------|------------------|--------------------------------|
| C357 | 佐藤 光輝（北大・理） | 惑星大気対流構造の解明にむけた雷放電探査観測計画 |
| C358 | 中島 健介（九大・理） | 高解像度火星大気大循環モデル中の中小規模渦度擾乱 |
| *C359 | 黒田 剛史（NICT） | 火星古気候の大気・水圏結合モデリング |
| *C360 | 中川 広務（東北大学・理） | 火星超高層大気中における大気重力波の特性 |
| C361 | 吉田 奈央（東北大学理学研究科） | MAVEN/IUVS 観測による火星均質圏界面高度の季節変動 |
| C362 | 寺田 直樹（東北大理） | 火星外圏における大気重力波の DSMC 計算 |

各講演は15分、*付きは招待講演

D 会場

専門分科会「人工知能（AI）は気象学にブレイクスルーをもたらすか？」

趣旨説明

座長：楠 研一（気象研）

- | | | |
|-------|-------------------|--|
| *D351 | 石川 宜広（気象庁） | 気象庁天気予報ガイダンスにおける機械学習の歴史と展望 |
| D352 | 杉山 大祐（JAMSTEC） | 深層ニューラルネットワークによるカメラ画像からの気象情報の抽出 |
| D353 | 増田 涼佑（東北大院理） | 深層学習とデジタルカメラを利用した雲光学的厚さ推定手法の開発 |
| D354 | 伊藤 純至（東大大海研） | 深層学習を利用した接地境界層パラメタリゼーションの構築 |
| *D355 | 石津 尚喜（アルファ電子/気象研） | 突風防災のための CNN によるレーダー渦探知実験 |
| D356 | 塚原 純（横浜国立大学院） | 畳込みニューラルネットワークによる雲画像を用いた降雨および短時間大雨の予測手法 |
| D357 | 佐藤 晋介（NICT） | 深層学習によるフェーズドアレイ気象レーダーで観測された降水エコー形態の分類 |
| D358 | 北村 智文（JMA） | 多層ニューラルネットを用いた衛星画像からの降水有無の推測による雨量計データの品質管理 |

座長：筆保 弘徳（横国大）

- | | | |
|-------|----------------|---|
| *D359 | 北本 朝展（NII） | 機械学習による台風雲パターンと温帯低気圧化の分析 |
| D360 | 金崎 拓郎（横浜国大） | 機械学習を用いた台風検出器の開発と精度検証（第2報） |
| D361 | 嶋田 宇大（気象研） | 複数の SHIPS モデルとランダムフォレストを用いた台風強度予測 |
| D362 | 大光寺 岳（キショウチョウ） | 衛星画像を用いた深層学習による台風の強度推定 |
| D363 | 棚原 慎也（琉大院 理工） | Grad-CAM による台風強度予測の感度解析と水蒸気フラックスおよび角運動量との関連 |
| D364 | 松岡 大祐（JAMSTEC） | 畳込みニューラルネットワークを用いた熱帯低気圧の予兆検出における性能評価 |
| *D365 | 三好 建正（理研計算科学） | 気象学における AI 活用を考える |

総合討論

各講演は12分、*付きは招待講演

A 会場

降水システムⅢ

座長 : 當房 豊 (極地研)

A401	古家 正規 (金沢大学院)	原子間力顕微鏡を用いた個別雲凝結核の吸湿特性評価
A402	當房 豊 (極地研)	黒い微粒子の氷核活性の評価
A403	田尻 拓也 (気象研)	Hybrid フレアー粒子の雲核・氷晶核能
A404	高橋 庸哉 (北教大)	水飽和以下での雪結晶の成長条件を解明する鉛直過冷却雲風洞実験
A405	石坂 雅昭 (防災科研)	2018 北陸大雪時の降雪粒子の特徴
A406	中井 専人 (防災科研・雪氷)	2018 年 1 月大雪時の新潟県における降水系と降雪時気温
A407	三隅 良平 (防災科研)	境界層の薄い層雲に検出された大きな雨滴 -Ka バンド偏波レーダ観測および東京スカイツリーを利用した測定-
A408	篠田 太郎 (名大 ISEE)	Ka 帯偏波レーダとビデオゾンデにより観測された層状性降水固相域の KDP 極大層
A409	瀬口 貴文 (防衛大)	Jumping Cirrus の地上観測と衛星・ラジオゾンデ・地上レーダーによる定量的解析
A410	玉井 健太郎 (北大低温研)	2017 年台風 21 号 (LAN) に伴う放射状巻雲バンドの数値実験

B 会場

気候システムⅢ

座長 : 松村 伸治 (北大院地球環境)

B401	山中 大学 (地球研)	海岸線地帯における大気水圏・生物圏・人類圏の「飽和」
B402	中村 哲 (北大・地環研)	北極温暖化に伴うユーラシア陸面過程の気候メモリ効果
B403	松村 伸治 (北大院地球環境)	北太平洋と北大西洋温暖化に対する中緯度ジェットの応答
B404	遠藤 洋和 (気象研)	温暖化に伴う平均降水量変化における海面水温パターン変化の役割: 高解像度 MRI-AGCM と CMIP5 モデルの比較
B405	釜江 陽一 (筑波大生命環境)	複数の海面水温上昇分布を仮定した atmospheric river 発生頻度の将来変化予測
B406	小玉 知央 (JAMSTEC)	全球非静力学モデル NICAM 気候実験における水平解像度依存性
B407	筒井 純一 (電中研)	気候モデルの CO2 濃度増加実験における有効放射強制力と気候フィードバックパラメータの分析手法
B408	川合 秀明 (気象研)	CMIP5 マルチモデルにおける温暖化時の北太平洋の海霧変化
B409	堀田 陽香 (AORI)	気候モデル MIROC の雲微物理過程への格子内雲水変動の影響
B410	大石 龍太 (東大大海研)	プロセスベースのグリーンランド氷床融解量推定 ～氷床結合 GCM に向けて

C 会場

気象予報・データ同化Ⅱ

座長 : 黒澤 賢太 (理研計算科学)

- | | | |
|------|-----------------|--|
| C401 | 小槻 峻司 (理研計算科学) | 全球大気データ同化システム NICAM-LETKF を使った EFSO 観測インパクト推定 |
| C402 | 石橋 俊之 (気象研) | 航空機データの全球数値天気予報へのインパクトについて |
| C403 | 近藤 圭一 (気象研) | 誤差分布の非ガウス性を考慮したデータ同化手法 |
| C404 | 青梨 和正 (気象研) | NE に基づく変分同化法への降水の混合対数正規分布の導入 (その2) |
| C405 | 斉藤 和雄 (大気海洋研) | アンサンブルデータ同化のための摂動手法 (5) 雲解像モデル LETKF の場合 |
| C406 | 寺崎 康児 (理研計算科学) | GSMaP 降水データの観測誤差相関を考慮したデータ同化実験 |
| C407 | 本田 匠 (理研計算科学) | ひまわり 8 号の輝度温度同化研究: 台風に伴う降水予報の改善 |
| C408 | 上清 直隆 (気象研) | ひまわり 8 号雲域観測データの全球データ同化—高分解能情報を利用した品質管理— |
| C409 | 前島 康光 (理研・計算科学) | 高頻度・高分解能雷観測データと 100 m メッシュ SCALE-LETKF によるシミュレーションとの比較 |
| C410 | 黒澤 賢太 (理研計算科学) | 数値天気予報とノウキャストを組み合わせた全球降水予測 |

D 会場

大気力学

座長 : 宮本 佳明 (慶応大環境情報)

- | | | |
|------|------------------|----------------------------------|
| D401 | 吉崎 正憲 (立正大学) | 球座標系における浅水波 (ラプラス潮汐方程式) の厳密解(2) |
| D402 | 板野 稔久 (防衛大 地球海洋) | 目のある浅水渦上の軸対称擾乱の解析 |
| D403 | 伊賀 啓太 (東大 大気海洋研) | 円筒容器内で回転する円盤上の軸対称流: 速い流れと遅い流れの比較 |
| D404 | 宮本 佳明 (慶応大環境情報) | エクマンポンピングを介した不安定 |
| D405 | 宮本 佳明 (慶応大環境情報) | 第二の眼の壁雲の形成メカニズム |
| D406 | 山本 勝 (九大応力研) | 北太平洋西岸域の局所加熱に対する大気応答 |
| D407 | 山中 大学 (地球研) | 海岸線準拠の大気力学 |

A 会場

専門分科会「全球降水観測計画「GPM」主衛星による中高緯度降水観測の最前線」

趣旨説明 (2分) 高藪 縁 (東大AORI)

座長 : 重 尚一 (京大院理)

- | | | |
|------|-----------------------|--|
| A451 | 久保田 拓志
(JAXA/EORC) | 全球降水観測計画「GPM」の進展と今後 |
| A452 | 山地 萌果 (JAXA/EORC) | GPM/DPR で得られた全球雨滴粒径分布と降水特性の関係 |
| A453 | 村田 文絵 (高知大理工) | 高知・五台山における雨滴粒度分布の EOF 解析 |
| A454 | 竈本 倫平 (山口大院) | 降雪粒子直接観測による GPM/DPR 降水タイプ分類アルゴリズムの地上検証 (その3) |
| A455 | 井口 俊夫 (NICT) | GPM/DPR による固体降水の検出 |
| A456 | 黒澤 賢太 (理研計算科学) | GPM/DPR の固体降水フラグの初期検証:3.5km NICAM との比較 |
| A457 | 秋山 静佳 (京大院理) | GPM/DPR を用いた温帯低気圧に伴う激しい固体降水の解析 |
| A458 | 辻 宏樹 (東大大気海洋研) | GPM 潜熱加熱プロダクトを用いた北半球中緯度域の潜熱加熱分布の定量的調査 |
| A459 | 広瀬 正史 (名城大) | GPM DPR データによる中高緯度域の降水気候値の抽出 |
| A460 | 横山 千恵 (東大大気海洋研) | 初夏の日本付近における降水特性の将来変化: GPM DPR 観測とCMIP5 大規模環境場予測とを用いた推定 |
| A461 | 小槻 峻司 (理研計算科学) | NICAM-LETKF を用いた GPM/DPR 反射強度データ同化実験 |

休憩 (10分)

座長 : 久保田 拓志 (JAXA/EORC)

- | | | |
|------|-----------------------|--|
| A462 | 青梨 和正 (気象研) | 次世代のマイクロ波イメージャ降水リトリーバルアルゴリズム開発 (その7) : GPM の散乱アルゴリズムの誤差と JRA55 環境変数の比較 |
| A463 | 久保田 拓志
(JAXA/EORC) | 全球降水マップ GSMaP の降雪推定手法の開発 |
| A464 | 広瀬 民志 (千葉大 CEReS) | アジアモンスーン域の主に暖かい雲からなる豪雨に対するひまわり 8 号赤外マルチバンドの有効性 |
| A465 | 谷田貝 亜紀代 (弘前大理工) | Preliminary evaluation of GPM IMERGE over three distinct climate regions with reference to APHRODITE |
| A466 | 岡本 創 (九大応力研) | CloudSat-CALIPSO, Aeolus, EarthCARE と GPM による雲・降水解析 |
| A467 | 山本 宗尚 (京大院理) | A-train データを用いた日本海上降雪雲の構造解析 |
| A468 | 高橋 暢宏 (名大 ISEE) | 降水観測ミッションの将来像について |

B 会場

物質循環システム

座長 : 林 政彦 (福大理)

- | | | |
|------|---------------------|--|
| B451 | 鶴田 治雄 (RESTEC) | SPM テープろ紙の分析による福島第一原発事故直後の放射性物質の長距離輸送現象 |
| B452 | 渡邊 明 (福島大・理工) | 放射性物質を移行するナノ粒子の起源 |
| B453 | 兼保 直樹 (産総研) | 花粉センサー・データを利用した接地雲(霧)の検出
ー福島事故起源の放射性核種沈着メカニズムとしてー |
| B454 | 林 政彦 (福大理) | 1,11 月に Tarawa 上空で観測された熱帯対流圏界層巻雲の特性と起源 |
| B455 | 山下 陽介 (JAMSTEC) | 2016 年 9 月にシベリア域で発生した森林火災に伴うエアロゾル輸送の NICAM-SPRINTARS と R/V 「みらい」 の観測結果を用いた解析 |
| B456 | 安成 哲平 (北大院工・北大北極研セ) | Observed increased PM2.5 in Sapporo on April 27, 2018, due to smoke transports from East Eurasia |
| B457 | 程 炳沛 (気象研究所) | Aerosol Mixing State Relevance to CCN Properties and Air Quality: Insights from Transmission Electronic Microscopy Observations in Japan |
| B458 | 黒崎 泰典 (鳥大・乾地研) | 現地調査等によるダスト発生条件解明の試み |
| B459 | 河合 慶 (名大院環境) | 2015 年 4 月 29~30 日にゴビ砂漠で発生したダストストームのシーロメーター観測: 逆転層へのダストの取り込み |

座長 : 出牛 真 (気象研)

- | | | |
|------|---------------|--|
| B460 | 渡辺 幸一 (富山県立大) | リアルタイム浮遊菌カウンタによる微生物粒子の計測 |
| B461 | 梶野 瑞王 (気象研) | 衛星観測により対流圏下部オゾンに対する前駆物質排出量削減の効果は検出できるのか |
| B462 | 出牛 真 (気象研) | 都市キャノピーが関東域の夏季地上オキシダントに及ぼす影響 |
| B463 | 中島 英彰 (環境研) | 南極昭和基地及び陸別における HCFC-22, HFC-23 の観測 |
| B464 | 松井 仁志 (名大環境学) | ブラックカーボンの放射強制力に対する混合状態の多様性と排出時粒径の重要性 |
| B465 | 眞木 貴史 (気象研) | 衛星観測データの炭素循環逆解析への導入について |
| B466 | 阿保 真 (首都大) | CO2-DIAL による境界層内 CO2 濃度の昼夜連続観測結果に対する source と sink の考察 |
| B467 | 石戸谷 重之 (産総研) | 代々木における大気中酸素濃度の連続観測に基づく都市・大気間の酸素/二酸化炭素交換比 |

C 会場

観測手法

座長 : 西澤 智明 (環境研)

- | | | |
|------|---------------|---|
| C451 | 菅原 広史 (防大地球) | 気温測定用強制通風管の吸い込み範囲 |
| C452 | 山本 哲 (気象研究所) | 地上気温観測における日射/放射影響評価のための基準観測方法の検討 |
| C453 | 山本 哲 (気象研究所) | 露場地面付近の気温変動鉛直構造 |
| C454 | 西澤 智明 (環境研) | 衛星搭載ライダーCALIOP データを用いた長期・全球エアロゾルコンポーネント解析 |
| C455 | 萩原 雄一朗 (JAXA) | NICAM/Joint-Simulator 出力を利用した EarthCARE/CPR ドップラ速度誤差の評価 |
| C456 | 大野 裕一 (NICT) | WINDAS 鉛直速度観測を用いた高層雲の解析 |
| C457 | 山本 真之 (NICT) | 次世代ウィンドプロファイラの研究開発 |

座長 : 民田 晴也 (名大宇地研)

- | | | |
|------|-----------------|---|
| C458 | 堀 康郎 (安田電機暖房) | 衛星放送電波を用いた降雨強度、雨量の測定 |
| C459 | 西井 章 (高知大院理) | 高知大学 MP レーダーネットワークによる合成降雨情報表示 |
| C460 | 末澤 卓 (首都大院システム) | マルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダの初期精度評価 |
| C461 | 真木 雅之 (鹿児島大) | 船舶レーダによる噴石の検出実験 |
| C462 | 民田 晴也 (名大宇地研) | 降雪粒子の立体形状とマイクロ波散乱特性 |
| C463 | 山下 克也 (防災科研) | 降雪センサーを用いた降雪分布測定システム |
| C464 | 上條 賢一 (東洋大) | 伊豆半島周辺における海水温変動の複雑性解析
ー外海と湾内の移動 LFD 比較のための一方法ー |

D 会場

気象教育・環境気象

座長：藤部 文昭（首都大・都市環境）

- | | | |
|------|-----------------|--|
| D451 | 山本 晴彦（山口大） | 帝国日本における気象観測ネットワークの構築—台湾総督府— |
| D452 | 新井 直樹（東海大学） | 気象情報可視化ツール Wvis の開発と教育現場での活用 |
| D453 | 名越 利幸（岩手大教育） | 理科教育用気象数値実験ソフト「Web-CReSS for Education」の開発 |
| D454 | 藤部 文昭（首都大・都市環境） | 日々の低温死亡率と気象条件との関係 |

専門分科会「局地気象とくらし」（14:30～）

座長：白川 栄一（仙台航空測候所）

- | | | |
|------|----------------|---------------------------------------|
| D455 | 内山 常雄（予報士会） | 自宅の気温の測定値で見る局地性と地域性 |
| D456 | 大西 晴夫（気象予報士会） | 気象庁生活協同組合売店の来客数予想 |
| D457 | 伊藤 忠（予報士会東海支部） | 暖湿流場における水蒸気収束/降雨バランスの揺らぎと周期的局地温度場との共鳴 |
| D458 | 関 陽平（三重大院生物資源） | 最低気温前日差から見た冬季北海道の際立った気候 |

座長：鈴木 和明（元福島地方気象台）

- | | | |
|-------|-----------------|-------------------------------|
| D459 | 中山 秀晃（予報士会） | 関東地方の雨雪判別 —2018年1月22日の降雪事例より— |
| *D460 | 小関 英明（東北能開大青森校） | 青森県における積雪期の雪害による被災者数とその推測 |
| *D461 | 高野 哲夫（気象予報士会） | ニューラルネットワークを用いた新潟県内の冬期降水域の解析 |

各講演は12分、*付きは招待講演